



平成28年 5月26日

各 位

会 社 名 K e e P e r 技 研 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 谷 好 通
(コード番号：6036 東証第一部・名証第一部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 梶 中 修
経 営 企 画 本 部 長
(TEL 0562-45-5258)

キーパーLABO直営店の新規出店予定店舗数の見直しに関するお知らせ

当社は、平成27年8月10日公表の「平成27年6月期 決算説明資料」において、キーパーLABO運営事業のキーパーLABO直営店の新規出店予定店舗数を公表しておりますが、下記の理由により、キーパーLABO直営店の新規出店予定店舗数の見直しを行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 見直しに至る背景

平成28年6月期末に近づきつつあるこの時期に、今期（平成28年6月期）の新規出店の状況をご説明すると共に、今後の出店計画の見直しについて見直すことに決定いたしましたのでご説明いたします。

まず、平成27年2月12日のマザーズ市場上場以後、ショッピングセンター内へのテナントとしての出店提案が、複数のチャンネルから全国に多数の案件をいただくようになりました。上場前は、新規物件の発掘に苦労したため、ショッピングセンターへの出店については、当初、新規出店計画を強気で計画いたしました。

平成27年8月10日公表の「平成27年6月期 決算説明資料」における中期展望として、今期平成28年6月期は12店、平成29年6月期は24店、更には平成30年6月期は36店の新規出店計画を立て、三年後には全直営店で約100店舗を目標としました。全国制覇を目指すチェーン店は、この程度の出店ペースは必要と考え、当社においても、このような時期を自らの意志で造らなくてはならないと考え、あえて強気の出店計画といたしました。

一軒目のショッピングセンター内の店舗はキーパーLABO野田店です。これは建造中の新規のショッピングセンター内への入居となり、同時にオープンいたしました。オープン当初、ショッピングセンターとしてはまだ集客力はなかったものの、同店は、最初から予想を上回る売上げで、ショッピングセンターの効果は絶大であると確信いたしました。

それに次いで、すでに営業している滋賀県のイオンタウン彦根店と三重県のイオンタウン芸濃店内に、平成27年10月に「キーパーLABOイオンタウン彦根店」、翌月11月に「キーパーLABOイオンタウン芸濃店」を、それぞれオープンいたしました。

特にイオンタウン彦根店については、年間来店客数280万人程度の多大な集客力をすでに有しており、同店も開店と同時に多数の来店を見込んでおりました。

開店後すぐに、キーパーLABO彦根店のパンフレットを、イオンタウン彦根店に来てお買い物をしていらっしゃるお客様に配りました。しかし、予想に反し、お客様の反応は薄く、イオンタウンにはお買い物客が溢れているのに、キーパーLABOへの来店客数は振るわず、従業員含めその原因を究明いたしました。その結果、ショッピングセンターへの来店客は、お買い物に来ている人々であり、乗ってきた車は、すでに駐車場に停めてある。お買物の最中に、「車をきれいに・・・」とパンフレットを見ても、わざわざ車を取りに駐車場へ戻り、キーパーLABOへ持って行く気になれない。イオンタウンの“中”において、すでにイオンタウンに“来ている”人々に、キーパーLABOを宣伝しても、良い反応が得られない。中の人々に宣伝していても効果がない、「お買物のついでに洗車をしませんか」ではない。宣伝はすべきは、イオンタウンへ“これから来る”人々であり、イオンタウンの“外”に向かい、キーパーLABOを宣伝する発想に転換いたしました。「洗車・コーティングの間のついでに買物ができる」という宣伝に見直しをいたしました。

いずれにしても、営業中のショッピングセンター内で改装したLABO彦根店及びLABO芸濃店の出遅れにより、他のショッピングセンターへの新規開店を同じ手法で続けることに、一旦ブレーキを掛けることといたしました。当初は30店舗程度の新規出店のチャンスがありましたが、新規開店のスタートダッシュを確信しないままスタートをしてはいけないと考え、今期の新規開店を路面店にとどめ、結果として、ちば古市場店を入れても今期の新規開店は6店舗にとどまり、当初の予定であった12店舗の半分で終了させる予定であります。

皆様への約束が守れなかったことをお詫びするとともに、自らの認識の甘さを深く反省するものであります。

一方で、今後はイオンタウンだけでなく、イオンモール、平成28年6月開店のキーパーLABO千葉古市場店がベイシアのショッピングセンターであるように、複数のショッピングセンターへの出店機会を得ております。LABO彦根店及びLABO芸濃店の反省を踏まえ、初期販促の手法を把握してまいりましたので、路面店の発掘を加えて、ペースを加速して行きたいと準備を進めております。

しかし、一旦出店ペースを落としていることに加え、新規店候補物件の選定を厳しい基準に変更してきており、平成29年6月期は、12店舗の新規開店に留まる予定であります。出店ペースを落としたことにより、懸念されるコスト面においては、平成28年4月入社の新卒社員は40名でしたので、人材の配分バランスは問題ないものと考えております。平成30年6月期は、15店舗の新規出店数として計画を修正いたします。なお、次の三か年中期経営計画においては、飛躍的な新店開発の可能性を探ってまいり所存であります。

2. キーパーLABO直営店の新規出店予定店舗数の変更内容

キーパーLABO直営店	平成28年6月期		平成29年6月期		平成30年6月期	
	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後
新規出店予定店舗数	12店	6 店	24店	12 店	36店	15 店
期末予定店舗数	49店	43 店	73店	55 店	109店	70 店

(注) 2015年6月期末のキーパーLABO直営店舗数は、37店舗であります。

3. 今後の業績に与える影響

平成28年1月27日公表の平成28年6月期の業績予想値には影響はありません。

以 上